



設定 ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

設定	1
ONTAP AutoSupport設定の管理	1
AutoSupport設定の表示	1
AutoSupportデータの生成と送信	1
AutoSupportへの接続テスト	1
AutoSupportの有効化または無効化	2
サポート ケースの生成抑制	2
サポート ケースの生成再開	3
AutoSupport設定の編集	3
スケジュールされたメンテナンス期間中のONTAP AutoSupportケース作成を抑制します	3

設定

ONTAP AutoSupport設定の管理

System Managerを使用して、AutoSupportアカウントの設定を管理できます。

AutoSupportの設定オプション（System Managerでは使用できない設定を含む）の詳細については、["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の `system-node-autosupport-modify` を参照してください。

AutoSupport設定の表示

System Managerを使用して、AutoSupportアカウントの設定を表示できます。

手順

1. System Managerで、***Cluster > Settings***をクリックします。

AutoSupportセクションには、次の情報が表示されます。

- ステータス
- 転送プロトコル
- プロキシ サーバ
- 送信元Eメール アドレス

2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、***その他のオプション***を選択します。

AutoSupport接続とEメール設定に関するその他の情報が表示されます。また、メッセージの転送履歴も表示されます。

AutoSupportデータの生成と送信

System Managerでは、AutoSupportメッセージの生成を開始して、データを収集するクラスタ ノードを選択できます。

手順

1. System Managerで、***Cluster > Settings***を選択します。
2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、***生成して送信***を選択します。
3. 件名を入力します。
4. ***データ収集元***の下チェックボックスを選択して、データを収集するノードを指定します。

AutoSupportへの接続テスト

System Managerからテスト メッセージを送信して、AutoSupportへの接続を確認できます。

手順

1. System Managerで、*Cluster > Settings*をクリックします。
2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、接続のテスト を選択します。
3. メッセージの件名を入力します。

AutoSupportの有効化または無効化

AutoSupportは、設定上の問題が発生する可能性の事前特定や、サポート ケースの迅速な解決など、NetApp のお客様にビジネス上の確かなメリットを提供します。新しいシステムでは、AutoSupportがデフォルトで有効になっています。必要に応じてSystem Managerを使用し、ストレージ システムの健全性を監視して通知メッセージを送信するAutoSupportの機能を無効にすることができます。AutoSupportは、無効にしたあとで再度有効にすることができます。

タスク概要

AutoSupportを無効にする前に、NetAppコールホームシステムをオフにすることになり、次の利点が失われることに注意してください：

- **ヘルス モニタリング**：AutoSupportはストレージ システムのヘルスをモニタリングし、テクニカル サポートと社内のサポート組織に通知を送信します。
- **自動化**：AutoSupportはサポートケースの報告を自動化します。ほとんどのサポートケースは、お客様が問題に気付く前に自動的に作成されます。
- **より速い解決**：AutoSupportデータを送信するシステムでは、サポートケースが、AutoSupportデータを送信しないシステムの場合と比べて半分の時間で解決されます。
- **アップグレードの高速化**：AutoSupportは、System Managerでのバージョンアップグレード、アドオン、更新、ファームウェア更新の自動化など、顧客のセルフサービスワークフローを強化します。
- **その他の機能**：AutoSupportが有効になっている場合にのみ、他のツールの特定の機能（NetAppコンソールの一部のワークフローなど）が動作します。

手順

1. *Cluster > Settings*を選択します。
2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、*無効*を選択します。
3. AutoSupportを再度有効にする場合は、*AutoSupport*セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、*有効*を選択します。

サポート ケースの生成抑制

ONTAP 9.10.1以降では、System ManagerからAutoSupportにサポート ケースの生成を抑制する要求を送信できます。

タスク概要

サポート ケースの生成を抑制するには、抑制を実行するノードと期間（時間数）を指定します。

サポート ケースの抑制は、システム メンテナンスの実行中はAutoSupportでケースを自動作成したくない場合に特に役立ちます。

手順

1. *Cluster > Settings*を選択します。

2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、*サポートケースの生成を抑制*を選択します。
3. 抑制を実行する期間を時間数で入力します。
4. 抑制を実行するノードを選択します。

サポート ケースの生成再開

ONTAP 9.10.1以降では、AutoSupportからのサポート ケースの生成が抑制されている場合、System Managerを使用して生成を再開できます。

手順

1. *Cluster > Settings*を選択します。
2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、サポート ケース生成の再開 を選択します。
3. 生成を再開するノードを選択します。

AutoSupport設定の編集

System Managerを使用して、AutoSupportアカウントの接続とEメール設定を変更できます。

手順

1. *Cluster > Settings*を選択します。
2. **AutoSupport** セクションで[メニューオプションアイコン]を選択し、*その他のオプション*を選択します。
3. *接続*セクションまたは*電子メール*セクションで、[編集アイコン]を選択して、いずれかのセクションの設定を変更します。

関連情報

- ["AutoSupportを使用するための準備"](#)
- ["AutoSupportのセットアップ"](#)

スケジュールされたメンテナンス期間中のONTAP AutoSupportケース作成を抑制します

AutoSupportケースの抑制を使用すると、スケジュールされたメンテナンス時間中にトリガーされるAutoSupportメッセージによって不要なケースが作成されるのを阻止できます。

手順

1. テキスト文字列 `MAINT=xh` を含むAutoSupportメッセージを手動で呼び出します。 `x` はメンテナンスウィンドウの期間（時間単位）です。 <node> を、AutoSupportメッセージを送信するノードの名前に置き換えます。

```
system node autosupport invoke -node <node> -message MAINT=xh
```

関連情報

- ["ONTAPコマンド リファレンス"](#)
- ["How to suppress automatic case creation during scheduled maintenance windows"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。